

## 第6次綾部市総合計画前期基本計画 進捗を共有する指標の状況（令和3年度）

綾部市では、「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち…綾部」を将来都市像とする第6次綾部市総合計画を策定し、その実現のため各種施策の推進に努めています。

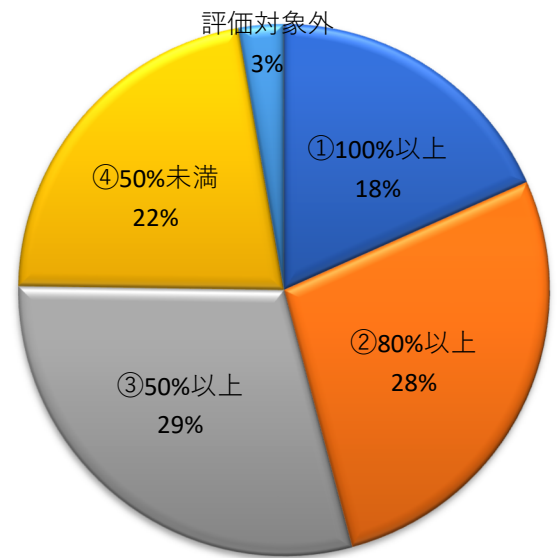
令和3年度から5か年を計画期間とする前期基本計画において、施策の進捗を市民と共有する109項目の指標を定め、その進捗状況を毎年度確認しながら達成に向けた取組を進めていくこととしています。

前期基本計画期間の1年を経過した令和3年度の指標の進捗状況を取りまとめましたのでお知らせします。

### （1）進捗を共有する指標の結果

令和3年度における全109項目の進捗を共有する指標の目標値に対する実績値の比率について、100%以上が20項目（18%）、80～100%未達が30項目（28%）、50～80%未達が32項目（29%）、50%未達が24項目（22%）となりました。

令和7年度までの前期5か年において、指標の実績を確認する中で、PDCAサイクルを回し、計画に基づく各施策を推進します。



章別の進捗を共有する指標の状況

（単位：項目）

章	100%以上	80～100%未達	50～80%未達	50%未達	評価対象外	総計
1章	2	5	5	7	1	20
2章	4	3	3	1	1	12
3章	2	3	9	6	0	20
4章	5	6	8	2	0	21
5章	4	10	4	5	1	24
6章	3	3	3	3	0	12
総計	20	30	32	24	3	109
割合	18%	28%	29%	22%	3%	

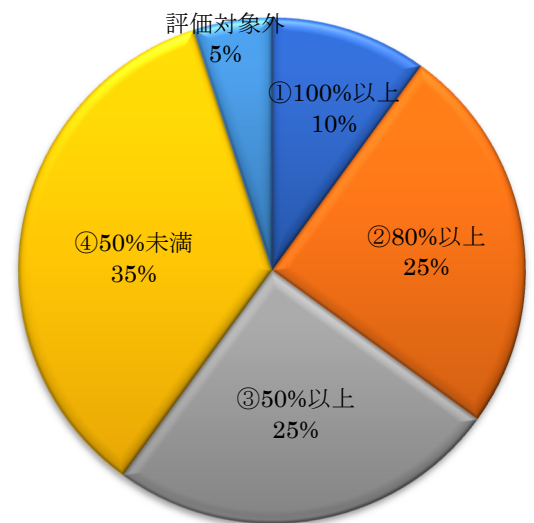
## (2) 各章ごとの取組結果

### 第1章 平和をねがい、祈りのあるまち

○この章では、人権尊重社会の実現、平和の発信と国際交流、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、生活の安全性の向上について、計画を定めています。

○20項目のうち2項目(10%)が100%以上、5項目(25%)が80~100%未満となっています。

- ・救命講習受講者数  
13,541人(目標15,300人)88.5%
- ・交通安全啓発活動参加者数  
694人(目標650人)106.8%
- ・あやべ見守りCAR参加台数  
398台(目標500台)79.6%

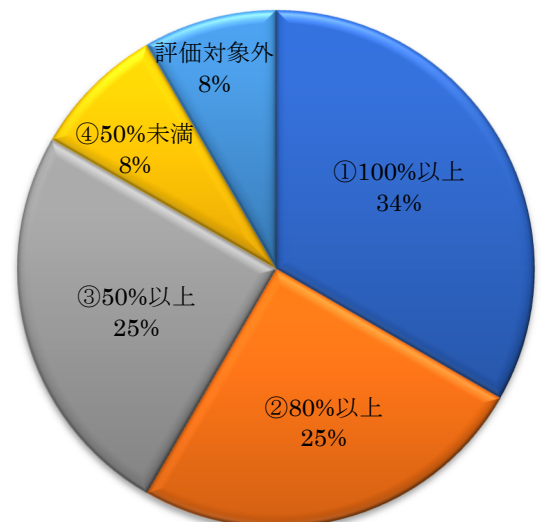


### 第2章 自治を高め、心のつながりのあるまち

○この章では、市民活動の促進と地域の活性化、男女共同参画社会の実現、情報の発信と共有、健全な行財政運営と広域連携について、計画を定めています。

○12項目のうち4項目(33.3%)が100%以上、3項目(25%)が80~100%未満となっています。

- ・あやべボランティア総合センター登録団体数  
121団体(目標130団体)93.1%
- ・審議会・委員会などにおける女性委員の比率  
30.1%(目標40.0%)75.3%
- ・ふるさと納税件数  
1,777件(目標1,400件)126.9%

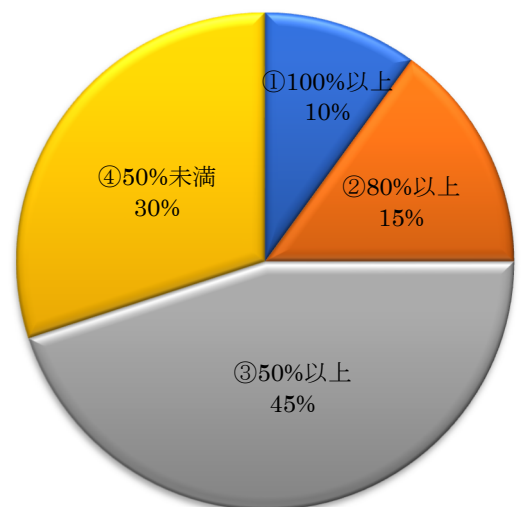


### 第3章 教育をたいせつにし、文化のかおるまち

○この章では、幼稚園、小・中学校教育の充実、社会教育の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術の振興について、計画を定めています。

○20項目のうち2項目(10%)が100%以上、3項目(15%)が80~100%未満となっています。

- ・小学校と連携した幼稚園教育が実施できていると感じている保護者の割合  
100%(目標100%)100.0%
- ・中学校卒業時の英語検定3級以上取得者の割合  
48.2%(目標65%)74.2%
- ・市美術展作品出展数  
248点(目標280点)88.6%

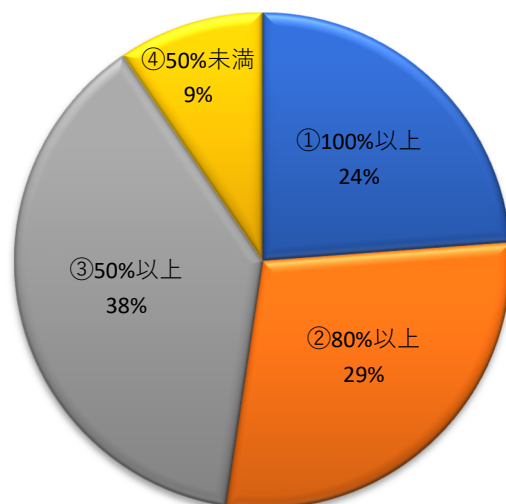


#### 第4章 環境をととのえ、健康のあふれるまち

○この章では、環境保全と廃棄物対策の推進、地域福祉社会の実現、子育て環境の充実、高齢者福祉の推進、障害者福祉の推進、保健の推進、医療体制の充実について、計画を定めています。

○21項目のうち5項目(24%)が100%以上、6項目(29%)が80~100%未満となっています。

- ・シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数  
6か所(目標8か所) 75.0%
- ・保育所、認定こども園への入所(園)希望者の入所(園)率 100%(目標100%) 100.0%
- ・がん検診受診率  
18.0%(目標22.0%) 81.8%

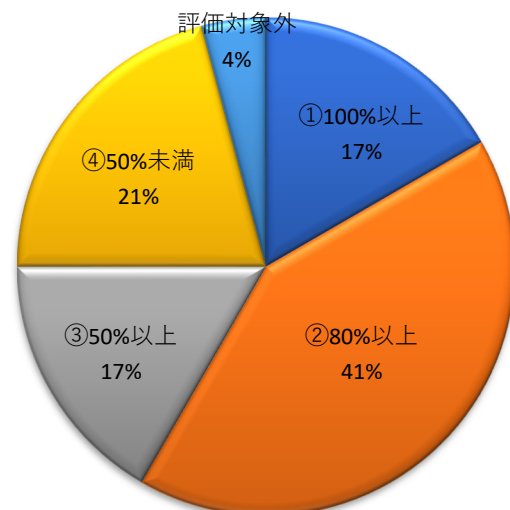


#### 第5章 産業をおこし、豊かなくらしのあるまち

○この章では、農林業・内水面漁業の振興、商工業の振興と雇用促進、観光と交流の推進、移住・定住の促進、スポーツの振興について、計画を定めています。

○24項目のうち4項目(17%)が100%以上、10項目(41%)が80~100%未満となっています。

- ・宿泊観光客数  
41,367人(目標58,500人) 70.7%
- ・定住世帯数(定住サポート総合窓口扱い)  
311世帯(目標360世帯) 86.4%
- ・スポーツ少年団加入率  
21.1%(目標20.0%) 105.5%

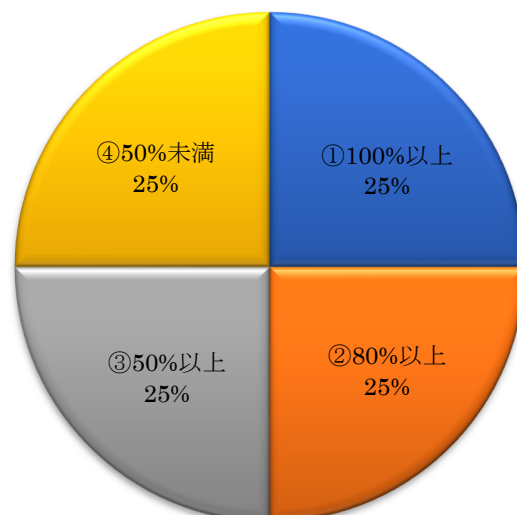


#### 第6章 計画を定め、輝かしいあしたをひらくまち

○この章では、土地利用と市街地の形成、道路・公園の整備、公共交通の充実、上下水道の運営と整備について、計画を定めています。

○12項目のうち3項目(25%)が100%以上、3項目(25%)が80~100%未満となっています。

- ・公園施設長寿命化計画に基づく都市公園遊具更新率  
59.3%(目標59.3%) 100.0%
- ・あやバス乗車人数  
154,879人(目標205,000人) 75.6%
- ・水道普及率  
98.6%(目標98.8%) 99.8%



第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
1	1 平和をねがい祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	人権推進課	綾部市は、人権が尊重された豊かなまちになっていると思う人の割合		↑	38.5% (H30)	50.0%	不明	対象外	対象外	令和5年度実施予定の市民調査により数値を把握するため、現段階では不明である。	関係機関と連携し、研修会や講演会を実施するとともに、広報紙や機関紙、ホームページ等を利用して情報発信を行うなど、人権教育・啓発の推進に努める。
2	1 平和をねがい祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	市民・国保課	登録型本人通知制度登録者数		↑	395人	1,000人	527人	52.7%	③50%以上	出張申請受付（人権フェスタ、献血会場、市健診会場、成人式、確定申告会場など）に13回出向き、新規登録者の増加に努めた。	イベント等でのPRや出張申請を継続して実施する。広報紙、市HPや窓口での案内などを中心としてPRに努める。
3	1 平和をねがい祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	人権推進課 社会教育課	人権に関する啓発活動や講演会などへの年間参加者数		↑	2,198人	2,550人	1,123人	44.0%	④50%未満	【人権推進課】 「あやべ人権フェスタ2021」を開催。京都府のユニット事業を活用した、広め隊コンサートと、義手の看護師で、北京・ロンドンパラリンピック日本代表の伊藤真波さんを講師に、人権講演会を行った。 【社会教育課】 人権を考えるセミナーは、会場を収容人数の多い中丹文化会館にし、回数を年1回に制限して実施した。 全市人研は、動員を例年の半数に人数制限して実施した。 人権教育講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集合型ではなくWeb開催とした。	【人権推進課】 継続して開催することで、さらに広く市民への啓発につなげていく。 【社会教育課】 人権を考えるセミナーは、コロナ禍の影響を考慮しながらも、例年のように年間5回の開催をめざし、より多くの市民の方に学びの場を提供できるようにする。 全市人研、人権教育講演会は、人数制限せずに参加を呼びかけていく方向で検討する。 市民や共催団体の実態やニーズに応じた講演内容を検討する。
4	1 平和をねがい祈りのあるまち	人権尊重社会の実現	人権推進課	人権福祉センター各種講座参加者数	年間	↑	4,076人	4,500人	2,185人	48.6%	④50%未満	講座参加者については、依然として参加者の固定化や高齢化のため減少傾向にある。また、昨年度と同様新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座を中止したこともあり、参加者の減少に繋がっている。 引き続き、市民ニーズに沿った事業等を行う必要がある。	継続事業については、引き続き実施し、さまざまな機会を通じて事業の周知を行う必要がある。 各種講座によっては、市民ニーズに沿った事業となるよう見直しを行い、趣旨を理解いただきながら魅力あるものにする必要がある。
5	1 平和をねがい祈りのあるまち	平和の発信と国際交流	企画政策課	綾部市民平和祈願の集い参加者数		→	150人 (H30)	150人	120人	80.0%	②80%以上	令和3年8月15日に藤山（寺山）山頂にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大及び天候不良のため中止となった。しかし、令和4年3月27日にロシアによるウクライナ侵攻を受け、ウクライナの日も早い安定と平和への祈りを込めて開催し、約120人が参加した。	毎年、終戦記念日である8月15日に開催しているため、今後も引き続き、平和等をテーマに市民団体と連携しイベントや啓発活動に取り組んでいく。
6	1 平和をねがい祈りのあるまち	平和の発信と国際交流	企画政策課	世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール応募数		↑	399点	460点	303点	65.9%	③50%以上	市内全小・中学校へ作品の応募を依頼し、ポスター290点、作文13点の作品が集まった。うち、最高位である文部科学大臣賞をはじめ、過去最多の9点が全国コンクールで入賞した。 令和3年度は、新型コロナウイルスによる影響で夏休みが短縮され応募点数が減少。また、類似のコンクールが多数あるため、学校ごとの取組により応募点数が左右される状況である。	生徒・児童数の減少などを考慮しつつ、様々な機会を捉えてコンクールの趣旨や目的などを周知し、より多くの取組・参加を図る。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
7	1 平和をねがい祈りのあるまち	平和の発信と国際交流	企画政策課	綾部国際交流協会日本語教室等参加者数	年間	→	1,130人	1,130人	304人	26.9%	④50%未満	綾部国際交流協会に委託し日本語教室や相談事業を開催した（日本語教室23回・相談事業23回）。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中の日本語教室中止や参加自粛もあり、参加者は学習者延べ81人・ボランティア延べ223人の計304人となった。	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止を余儀なくされた部分もあるが、今後も、日本語教室と相談業務を定期的（月4回）に開催する。
8	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	防災・危機管理課	防災座談会などの開催数	5か年累計	↑	105回 (H27～R元)	125回	17回	13.6%	④50%未満	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、自治会や小学生等を対象に出前講座等を開催した。このほか、HPや広報紙など、各種メディアを活用した情報提供を行うことにより防災意識の高揚を図った。	今後も出前講座等で自主防災組織の必要性、重要性のPRに努め、自主防災組織等ネットワーク会議と連携し、組織の設立と活動の活性化に取り組む。
9	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	防災・危機管理課	避難行動タイムライン作成組織数	累計	↑	4組織	21組織	31組織	147.6%	①100%以上	中上林地区を中心に、市職員がファシリテーターとなりワークショップを開催し、R3年度は13自治会でタイムライン及び防災マップを作成した。	今後も市職員が地元に入りワークショップの進行役を担い、タイムライン及び防災マップ作成支援するなどバックアップ体制の構築を図る。
10	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	建設課	急傾斜地崩壊対策事業・砂防対策事業新規実施箇所数	累計	↑	0箇所	5箇所	2箇所	40.0%	④50%未満	（令和2年度以降）急傾斜地崩壊対策事業として小西地区（小西町）、砂防対策事業として大島川（大島町）に着手（府事業）	対象候補地が多数ある中で、地元や府と調整を図りつつ、次の事業箇所を選定する。
11	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	建築課	木造住宅耐震診断補助実施数	累計	↑	187件	270件	227件	84.1%	②80%以上	広報紙等での周知により診断実施件数としては、19件で例年並みとなった。	引き続き市民に周知を図り事業を推進する。
12	1 平和をねがい祈りのあるまち	防災対策の推進	建築課	木造住宅改修補助件数	累計	↑	115件	195件	138件	70.8%	③50%以上	広報紙等での周知により耐震改修件数としては、111件で例年並みとなった。	引き続き市民に周知を図り事業を推進する。
13	1 平和をねがい祈りのあるまち	消防・救急体制の充実	消防本部 予防課	訓練実施事業所・自治会数（防火座談会を含む）	年間	↑	109か所	200か所	118か所	59.0%	③50%以上	火災想定訓練、消火器、消火栓、避難器具の実技、図上訓練を実施。コロナ禍での地域の活動自粛が実績評価に影響したと考える。	地域に訓練実施義務はないが、訓練や座談会の実施を勧める必要はある。また、訓練実施義務事業所すべてが、実施するよう指導方法を検討する必要があると考える。
14	1 平和をねがい祈りのあるまち	消防・救急体制の充実	消防本部 管理課	各訓練・行事参加消防団員数	年間	↑	2,983人	3,000人	2,552人	85.1%	②80%以上	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により各種訓練や消防団行事などが中止や規模縮小となったため、参加団員数が減少した。	社会情勢を踏まえ訓練、行事の実施できるよう更なる取組を行い消防団の活性化を図る。
15	1 平和をねがい祈りのあるまち	消防・救急体制の充実	消防本部 管理課	綾部市消防団応援の店登録件数		↑	105件	120件	110件	91.7%	②80%以上	新型コロナウイルス感染症の影響により積極的な促進活動ができていない状況である。	消防団応援の店の制度について広報を行い理解を得るとともに社会情勢を踏まえ登録促進の活動を行う。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
16	1 平和をねがい祈りのあるまち	消防・救急体制の充実	消防本部 警防課	救命講習受講者数	累計	↑	13,108人	15,300人	13,541人	88.5%	②80%以上	救命率の更なる向上を目的として事業を継続実施した。新規受講者数が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年度から2倍以上増加したが、コロナ禍前の水準には戻らず、その影響は継続していると分析する。 事業名称：普通救命講習1、開催様態：出前講座を中心に自治会、企業、学校単位で実施、開催回数：26回、新規受講者数：302人	新型コロナウイルス感染症に係る社会情勢の変化により、今年度以降は、コロナ禍前の水準に戻っていくのではないかと分析する。その動向を注視しつつ、未受講者に対する啓発活動を推進する。
17	1 平和をねがい祈りのあるまち	生活の安全性の向上	市民協働課	交通安全啓発活動参加者数	年間	↑	598人	650人	694人	106.8%	①100%以上	安全・安心のまちづくり推進協議会として、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を取りながら関係機関と連携し、街頭啓発活動や交通安全教室を行った。	今後も引き続き、安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係機関と連携し、街頭啓発や研修会などによる市民への交通安全意識の啓発や交通安全情報の提供を行う。
18	1 平和をねがい祈りのあるまち	生活の安全性の向上	市民協働課	防犯啓発活動参加者数	年間	↑	554人	650人	170人	26.2%	④50%未満	安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係機関と連携し啓発活動を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施回数の確保ができなかった。	今後も引き続き、安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係機関と連携し、街頭啓発や研修会などによる市民への防犯意識の啓発や犯罪情報の提供を行う。
19	1 平和をねがい祈りのあるまち	生活の安全性の向上	市民協働課	あやべ見守りCAR参加台数	累計	↑	291台	500台	398台	79.6%	③50%以上	機会があるごとに広くチラシを配布し、登録をお願いした。 また、関係機関が参加を促進する取組を積極的に行われ、多くの登録をいただいた。	広く市民が集まる機会を活用して、事業の趣旨を理解いただき、引き続き登録台数の増加を目指す。
20	1 平和をねがい祈りのあるまち	生活の安全性の向上	商工労政課	消費生活出前講座受講者数	年間	↑	181人	255人	47人	18.4%	④50%未満	利用申込みがあった1団体に対し出前講座を開催した。	新たに高齢者学級での実施に取り組む。
21	2 自治を高め心のつながりのあるまち	市民活動の促進と地域の活性化	市民協働課	コミュニティ助成事業数	5か年累計	↑	36件 (H27～R元)	50件	33件	66.0%	③50%以上	自治会等地域活動の拠点となる公会堂等施設の改修工事や地域コミュニティの活性化に資する事業について支援を行った。	引き続き、補助金の交付を行うことにより活動拠点施設の整備並びに活動に支援を行う。
22	2 自治を高め心のつながりのあるまち	市民活動の促進と地域の活性化	市民協働課	自治会加入世帯率		↑	79.9%	85.0%	78.7%	92.6%	②80%以上	自治会報償金や連合会補助金等による活動の支援を行っているが、自治会加入率は高齢化や外国人の問題等があり伸び悩みの状態にある。	自治会活動の支援等により、加入率の増加を目指す。
23	2 自治を高め心のつながりのあるまち	市民活動の促進と地域の活性化	市民協働課	あやべボランティア総合センター登録団体数		↑	124団体	130団体	121団体	93.1%	②80%以上	構成員の高齢化やコロナ禍による活動取止め等により活動を終了する団体がある一方、新規団体登録がないため、登録団体数が減った。	ボランティア活動を推進するため、登録団体の増加を目指す。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
24	2自治を高め心のつながりのあるまち	市民活動の促進と地域の活性化	市民協働課	あやべハートセンター利用件数	年間	↑	369件	400件	282件	70.5%	③50%以上	構成員の高齢化やコロナ禍による活動取止め等により活動を終了する団体があり会員数が減少した。	ボランティア活動を推進するため、登録団体会員数の増加を目指す。
25	2自治を高め心のつながりのあるまち	男女共同参画社会の実現	人権推進課	社会全体で男女の地位が平等になっていると思う人の割合 (R6) (「綾部市男女共同参画」に関する市民意識調査(5年ごとの実施))		↑	20.5%	30.0%	不明	対象外	対象外	※5年毎の実施のためR3年度は実績なし	社会全体に男女平等な状況になることを目指し、積極的に改善が行われるよう広く啓発を行う。
26	2自治を高め心のつながりのあるまち	男女共同参画社会の実現	人権推進課	あいアカデミーなど各種講座への参加者数	年間	↑	263人	300人	338人	112.7%	①100%以上	新型コロナウイルスの感染拡大等により、講座等の開催ができず、また、参加者も会場の半分等にして開催したことから参加人数が減少した。新たに、高校生向けの「デートDV防止講座」や京都府との共催による就職応援セミナーなどを行った。	講座等の開催にあたっては、今までの開催方法にとらわれず、少人数の講座を複数回開催するなどの工夫により啓発を行っていく。
27	2自治を高め心のつながりのあるまち	男女共同参画社会の実現	人権推進課	審議会・委員会などにおける女性委員の比率		↑	30.0%	40.0%	30.1%	75.3%	③50%以上	各所属において委員の任命をするにあたり、充て職に寄らず女性を団体から推薦していただくなどの取組を行ったことにより、若干比率が増加したが、目標値の達成には至らなかった。	引き続き、女性委員の登用を進めるよう各所属に依頼する。
28	2自治を高め心のつながりのあるまち	情報の発信と共有	秘書広報課	綾部市ホームページのトップページアクセス件数	年間	↑	453,191件	500,000件	1,560,785件	312.2%	①100%以上	新型コロナウイルス感染症やワクチン接種への関心が高まり、ホームページの閲覧数が増えた。また令和2年10月にスマートフォン対応したことや、LINE等で市のホームページへの誘導を行っていること、市広報紙にQRコードを掲載したことなどが閲覧数の増加につながった。	広報紙やLINE、Facebookとの連携を引き続き行う。令和4年度に実施するホームページリニューアルにより、市民が親しみやすく、市外の人に本市の魅力が伝わるホームページを構築する。
29	2自治を高め心のつながりのあるまち	情報の発信と共有	秘書広報課	FMいかる・あやべール・地域メルマガ等への市政情報提供件数		↑	1,637件	1,700件	1,762件	103.6%	①100%以上	FMいかるやあやべール、地域メルマガ等を活用して市の情報を周知した(令和3年度実績:プレスリリース1,128件、FMいかる487件、あやべール(お知らせ)147件)	引き続き情報発信に努める。
30	2自治を高め心のつながりのあるまち	情報の発信と共有	行政デジタル推進課	地域メールマガジン登録件数		↑	6,144件	6,700件	6,540件	97.6%	②80%以上	地域情報の受信手段としての役割があるメルマガということから若い世代から高齢者まで幅広いニーズがあり、一定範囲で広報はできていると感じている。なお、内容が地域情報であることから不特定多数の方への利用促進はできない。	高齢者等からメールの設定等で相談が多くある中、きめ細かな対応により情報格差の是正及びメールからの情報取得を希望される方の登録件数の増加に努めたい。
31	2自治を高め心のつながりのあるまち	健全な行財政運営と広域連携	企画政策課	ふるさと納税件数	年間	↑	910件	1,400件	1,777件	126.9%	①100%以上	寄附件数1,777件、寄付金額156,313,000円	新たな返礼品の拡充、ポータルサイトの活用による情報発信の強化により利用拡大を図る。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
32	2自治を高め心のつながりのあるまち	健全な行政運営と広域連携	企画政策課	企業版ふるさと納税件数	累計	↑	2件	12件	2件	16.7%	④50%未満	寄附件数2件、寄附金額13,000,000円	企業への情報発信、営業活動を強化する。
33	3教育をたいせつにし文化のおおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	小学校と連携した幼稚園教育が実施できていると感じている保護者の割合		→	100%	100%	100%	100.0%	①100%以上	コロナ禍ではあったが感染症対策をとりながら幼小連携推進事業の計画に沿って、園と小学校の子ども同士の交流活動や教師の研究会が進められた。体験活動は例年より十分にはできなかったが園児は学びの基盤となる意欲や根気、社会性などの力を付けた。	今後も幼小連携事業を中心に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識した園教育と、その育ちを踏まえた小学校教育の充実に努める。 保護者が作成する「入学前のお知らせとお願い『にこにこ』」や年度末に園と保護者、関係機関が共同で作成する「移行支援書」等をさらに活用して、就学前から小学校とつながる機会を確保されるような取組を継続する。
34	3教育をたいせつにし文化のおおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	将来の夢や目標を持つ子どもの割合（中3）		↑	64%	80%	73%	91.4%	②80%以上	コロナ禍のため社会科学習と関連しての施設見学等の実施が難しく、仕事や働くことを実感する機会が少なかったが、各校での様々なキャリア教育の取組（キャリアパスポート・ドリームマップ等）を通して自分の将来について考えられている。	感染症対策を行いつつ、施設見学や職場体験の機会を充実させる。学校生活のいろいろな場面でキャリア教育の取組を充実させ、自分の特徴や将来について考える機会を大切に。 キャリア教育を軸としたカリキュラムマネジメントを実践し、将来の夢や希望を持たせながら、それにつながる進路実現をめざす取組を進めたい。
35	3教育をたいせつにし文化のおおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	地域の行事に参加する子どもの割合（中3）		↑	67%	75%	70%	93.5%	②80%以上	キャリアパスポートの取組を通して自分の将来について考える機会が増えているが、将来の夢や目標を考えさせる取組は十分ではなく、将来への展望が持ちにくい生徒も一部見られる。	キャリア教育を軸としたカリキュラムマネジメントを実践し、将来の夢や希望を持たせながら、それにつながる進路実現をめざす取組を進めたい。 感染症対策を行いつつ、施設見学や職場体験の機会を充実させる。学校生活のいろいろな場面でキャリア教育の取組を充実させ、自分の特徴や将来について考える機会を大切に。
36	3教育をたいせつにし文化のおおるまち	幼稚園、小・中学校教育の充実	学校教育課	中学校卒業時の英語検定3級以上取得者の割合		↑	39%	65%	48.2%	74.2%	③50%以上	英語科の教員が、英検3級を意識した指導を実践しており、3級へのチャレンジャーが増えている。今年度は事業開始以来、初の40%台の達成となった。	対策問題集を教室に置いたり、実施日を意識して学習を進めるように啓発したり、授業の中で英語検定を意識した指導を進めていく。
37	3教育をたいせつにし文化のおおるまち	社会教育の充実	社会教育課	高齢者学級参加者数	年間	↑	2,459人	2,500人	821人	32.8%	④50%未満	市内12地区で、年間1～5回開催。健康教室や演奏会、レクリエーション、人権学習等を行った。老人クラブの解散や加入会員の減少に伴い、高齢者学級の参加者も減少傾向にある。さらに新型コロナウイルス感染拡大の影響により、講座が中止となり開催件数が減少した。	地域の実情にあった運営面での工夫や講座内容の充実に努めることにより、現状での利用人数の確保を目指す。



第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
38	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	障害者教室参加者数	年間	↑	347人	350人	140人	40.0%	④50%未満	青年学級、成人教室、視覚・聴覚・難聴講座の5講座を開催。スポーツ、絵手紙や苔玉教室、講座の合同交流会等、年間計13回の講座を実施した。	講座内容等の工夫を行い、参加者数を確保し、現状維持を目指す。
39	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	地区公民館利用件数	年間	↑	3,968件	4,000件	3,020件	75.5%	③50%以上	公民館ごとの特色ある自主事業を通じて、施設の利用促進を図った。 新型コロナウイルス感染拡大による影響で利用件数が減少した。	指定管理者による地域の実情に合った公民館運営により現状での利用件数・利用人数を確保する。
40	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	中央公民館利用件数	年間	↑	771件	780件	595件	76.3%	③50%以上	貸館事業や自主事業（中丹ふれあいアカデミー）を開催した。 新型コロナウイルス感染拡大による影響で利用件数が減少した。	貸館業務並びに自主事業の開催により、利用件数並びに利用者数の確保を図る。
41	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	図書館貸出冊数	年間	↑	130,190冊	186,000冊	130,711冊	70.3%	③50%以上	本の消毒ができるように多目的殺菌庫を導入したり、ソーシャルディスタンスをとるために折紙ツリーの展示を開始し、安心して来館いただけるよう工夫した。	図書館をさらに利用いただけるように、引き続き利用者のご意見を聞きながら貸出冊数を増やしていけるよう図書館を運営していく。
42	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	図書館ホームページ及びオンライン蔵書目録アクセス件数	年間	↑	29,086件	41,000件	29,873件	72.9%	③50%以上	安心して図書館行事に参加・来館いただけるように新たな取組（多目的殺菌庫導入・折紙ツリーの展示）の際にもHP更新を行ったり、お話を実施した後の報告を行った。	図書館をさらに利用いただけるように、引き続き行事やお知らせの報告・案内等の情報発信を行う。
43	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	天文館入館者数	年間	↑	11,794人	12,000人	5,653人	47.1%	④50%未満	感染防止対策のための時短開館、イベント開催の自粛に加え、雨漏り被害による臨時休館があった。 9～3月にかけて建物の大規模改修を行い、また制限のない期間は、感染対策をしながらできるイベントを工夫しながら開催した。	今後も天文館という施設の特徴を生かして、更に魅力ある施設となるよう施設の整備を行い、ニーズに合った催しを企画していく。
44	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	社会教育の充実	社会教育課	資料館利用者数	年間	↑	2,508人	2,550人	1,378人	54.0%	③50%以上	特別展や企画展が十分に実施できず、目標入館者数に達していない。展示を工夫はしているが上手く情報発信できていないことに課題がある。 （具体的な取組） ・小・中学校への資料館資料のPR ・3館合同企画久田山フェスティバルの実施 ・初心者向け古文書講座の実施 ・府立大学との共同企画展	展示や各種行事、講座等の情報発信を行い、資料館の来館者の増加を目指す。特に子ども向けの行事を実施し、文化財をはじめとする歴史資料に触れる機会が得られる場所として提案、企画していく。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
45	3 教育をたいせつにし文化のおおるまち	青少年健全育成の推進	社会教育課	青少年地域活動支援事業補助金交付団体数	年間	↑	29団体	30団体	3団体	10.0%	④50%未満	異世代間交流や体験活動などを通じて、青少年の健全な育成を促進するため、子ども会等地域の青少年育成団体に補助金を交付した。 新型コロナウイルスにより活動自体自粛傾向にあり、また中止や時間数の減少等により、申請後に辞退する団体が15団体となった。	近年、申請数が横ばい傾向であるとともに、申請団体が固定化されてきている中、学校などを通じ、より多くの子ども会等に周知を図り活用を促す。
46	3 教育をたいせつにし文化のおおるまち	青少年健全育成の推進	社会教育課	一斉声かけ参加者数	年間	↑	720人	850人	636人	74.8%	③50%以上	11月18日を全市一斉声かけの日として実施した。公民館、PTA、学校等が連携した取組となっている。新型コロナウイルス対策を行いながら、例年通りの取組ができた。	「地域の子どもは地域で守り育てる」という機運を高めるため、きっかけづくりの事業として、より多くの参加者が得られるよう育成協賛画団体等にさらに呼びかけ、参加者の増を目指す。
47	3 教育をたいせつにし文化のおおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	優良建築物活用事業利用件数	年間	↑	16件	18件	9件	50.0%	③50%以上	優良な建築物で展覧会等を行いたい利用者に対し、会場使用料の一部を市が負担することにより、文化・芸術活動を支援した。 新型コロナの影響で、キャンセルされた事業もあった。	コロナ禍の影響により、利用件数は伸び悩んだが、年間を通じて書や絵画をはじめとした文化活動の展示、発表の場としての利用がある。引き続きPR活動を行うとともに、近接する特産館とも協力をしながら適切な運営に努める。
48	3 教育をたいせつにし文化のおおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展作品出展数		↑	266点	280点	248点	88.6%	②80%以上	コロナ禍の開催となり、出展数は微減となったが、市美展が開催できるよう作品受付時や会期中の感染症対策などに取り組んだ。例年行っているギャラリートークは、録画とし会場内でリピート上映した。	引き続き、関係団体や高校とも連携を図り、出品数の増加を図りたい。
49	3 教育をたいせつにし文化のおおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展入場者数		↑	2,557人	2,600人	897人	34.5%	④50%未満	コロナ禍での開催となり、また、例年、同日開催していたアートフェスタの中止や雪の影響により、入場者は減となったが、多くの方に喜んでいただいたと考える。	更なるPRに努め、市民の鑑賞の機会を提供していく。
50	3 教育をたいせつにし文化のおおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭作品出展数		↑	1,332点	1,400点	1,730点	123.6%	①100%以上	新型コロナウイルス感染症の拡大により感染症対策を万全にした上で開催された。 文化協会会員の活動の成果の発表の場として、コロナ禍にもかかわらず多くの作品が出品された。 市民の文化活動の総合的な発表・鑑賞の場として市民文化の向上に貢献できた。	文化協会の充実発展と自主的事業の展開に向け、継続して支援を実施する。
51	3 教育をたいせつにし文化のおおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭入場者数		↑	5,674人	5,700人	3,670人	64.4%	③50%以上	コロナ禍での開催となり、感染症対策を万全にした上で開催された。幼児児童生徒の作品も展示し、コロナ禍のため入場者数は減少しているが、多くの市民の来場があり、市民文化の向上に貢献できた。	多くの市民の方が入場しており、市内の文化振興につながっている。市内最大の文化活動鑑賞の場として今後も支援していく。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
52	3 教育をたいせつにし文化のかおるまち	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	中丹文化会館入場者数	年間	↑	45,060人	50,000人	20,097人	40.2%	④50%未満	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが開催できないなど、利用実績が減となった。そのような中でも、鑑賞型事業について、感染症対策を施し、大きな催しを開催し、また、文化団体活動の継続・再開を後押しする事業も行った。	中丹文化事業団については、鑑賞型事業はもちろんのこと、参加型事業、芸術文化創造活動の育成事業などを積極的に展開されており、引き続き支援を実施する。
53	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境保全課	1人当たりごみ排出量 (家庭ごみ)	年間	↓	189kg	180kg	187kg	22.2%	④50%未満	ごみ分別の徹底など、ごみ減量化・資源化の取組推進により、燃やして処理するごみは、年々減少傾向にあるが、燃やさないで処理するごみは、過疎・高齢化等から、空き家の片付けなどが要因と思われるごみが増加している。	引き続き、ごみ分別の徹底とごみ減量化・資源化の普及推進に努める。
54	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境保全課	資源物 (紙類) 回収量	年間	↑	1,041 t	1,500 t	868 t	57.9%	③50%以上	資源回収補助金制度により、自治会やPTA等の団体による自主的な資源回収を支援した。ただし、ネットニュース等の普及に伴う新聞紙等の減少などに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標とする回収量は達成できなかった。団体802,590.5 kg + クリーンセンター持込65,450 kg = 868,040.5 kg	紙類を少しでも多く、資源として出してもらうように資源回収補助金制度や古紙回収保管庫設置費補助金制度のPRを行い、登録団体・回収量の増加に努める。
55	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	環境保全と廃棄物対策の推進	環境保全課	リサイクル推進員研修会参加率		↑	57%	65%	44%	67.7%	③50%以上	例年、「ごみ減量化の取組について」「ごみ処理状況について」の研修会を行っており、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、実施した。	参加率の向上を図るため、研修内容や開催日等を検討する。
56	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	地域福祉社会の実現	高齢者支援課	地域福祉活動補助金交付件数	年間	→	32件	32件	26件	81.3%	②80%以上	交付26団体の内17団体が交付額の減額変更申請があるなど、高齢者が集まるサロン活動が十分にできない状態であった。要望があれば、保健師の衛生指導の派遣を行うなど活動の支援を行った。	感染の心配から利用控えが続き人が集まらない状況であり、また組織の運営に必要なボランティアの確保が困難になっている。高齢者が以前のように安心して活動できるよう。アフターコロナへの対応の確立及び周知が必要と思われる。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
57	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	地域福祉社会の実現	こども支援課	シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数	年間	↑	6か所	8か所	6か所	75.0%	③50%以上	高齢者が中心となって子どもとの交流を行う団体に対して補助金を交付し、活動を支援した。 コロナ禍において感染防止対策を徹底して実施することで、子どもと高齢者との交流の場を提供し、また、地域の人とともに、子どもが各種ふれあい活動に参加することで、世代間交流、子育て活動を促進した。 延べ開催回数48回 参加延人数854人（子ども365人、指導者489人）	コロナ禍において、安全・安心な活動を継続することが大変な状況であるが、感染予防対策を図りながら活動する団体への支援を継続する。
58	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	子育て環境の充実	こども支援課	児童館・児童センター利用児童数	年間	↑	8,590人	8,600人	6,089人	70.8%	③50%以上	児童福祉法に基づき、児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的に運営した。 市内3施設において、それぞれ未就学児を対象とした「ひろば」を計画的に開催するなど、利用促進に努めたが、令和3年4月から西八田放課後児童健全育成学級が開設されたことから、なかすじ児童センターでは、小学生の利用者が減少し、目標値を達成することができなかった。	多くの児童に利用していただける効果的な事業実施に努め、施設の適正運営に努める。
59	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	子育て環境の充実	こども支援課	保育所、認定こども園への入所（園）希望者の入所（園）率	年間	↑	99.4%	100%	100%	100.0%	①100%以上	子育て世帯が安心して暮らし、働くことができるよう幼児教育・保育の場（保育所等9施設）を提供するとともに、幼児教育・保育の認定や各施設への入所調整を適正に実施した。 9施設の内訳（公立保育所1施設、私立保育所2施設、私立認定こども園6施設）	引き続き、子育て世帯が安心して暮らし、働くことができるよう幼児教育・保育の場（保育所等9施設）を提供するとともに、幼児教育・保育の認定や各施設への入所調整の適正実施に努める。
60	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	子育て環境の充実	こども支援課	ファミリー・サポート・センター会員数		↑	120人	150人	151人	100.7%	①100%以上	社会福祉法人への業務委託により、綾部市ファミリー・サポート・センター事業を実施した。 会員相互の援助活動により、仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てができる環境づくりを推進した。 【令和3年度未会員数（151人）の内訳】 ・おねがい会員103人 ・まかせて会員43人 ・両方会員5人	経験と実績がある社会福祉法人への業務委託を継続し、会員の獲得と会員相互の援助活動の推進に努める。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
61	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	介護職員研修受講補助者数	年間	↑	-	10人	8人	80.0%	②80%以上	介護職員研修受講補助利用者については、市内事業所への周知により一定の利用者数があった。研修受講後に事業所に雇用されているケースもあり、人材確保につながっている。	市内事業所への研修受講への協力及び周知の依頼を行い、利用者数の増加を目指す。また、従業者でない層への広報・啓発により新規の従事者確保を図る。
62	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	認知症サポーター養成講座受講者数	累計	↑	11,408人	13,500人	11,814人	87.5%	②80%以上	令和3年度のサポーター養成講座は6回開催、新規養成者数138人だった。新型コロナウイルス感染症の拡大防止観点から地域の団体における人の集まる場の設定が控えられていたことが影響し、目標数に達することができなかった。学校や職場での開催は4回あった。	今後も、地域の各種団体や学校関係や職域など幅広い年齢層へ講座受講の呼びかけを行い、地域で認知症の人や家族を支える理解者を増やし、認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを行う。
63	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	高齢者福祉の推進	高齢者支援課	清山荘入館者数	年間	↑	26,705人	30,600人	16,655人	54.4%	③50%以上	新型コロナウイルスの感染拡大で、イベントの中止、老人クラブなどの利用控えにより利用者が伸び悩んだ。また一定制限が解除された後も利用控えが続いており、以前の来館者の回復は困難な状況。	開館後30年以上が経過する中で、利用者のニーズとあっていない箇所があり、指定管理者と連携しながら、利便性の向上などの必要な改修を行いつつ、利用者の回復に務める。
64	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	障害者生活支援事業相談件数	年間	↑	16,393件	16,400件	16,511件	100.7%	①100%以上	虐待が疑われるケースや緊急対応を要するケース、緊急に入所先を探さないといけないケースなどが年々増加している。	相談支援事業所の体制強化や基幹相談支援センターによるバックアップを図る。
65	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	障害者介護給付費等支給事業利用者数	年間	↑	5,121人	5,520人	5,263人	95.3%	②80%以上	居宅介護、同行援護、生活介護等利用者ニーズに応えた支給決定及びサービス利用となるよう努めた。	障害福祉サービス事業所の拡充について支援をするなど、サービス提供基盤の整備に取り組み、多様なサービス利用につなげていく。
66	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	地域活動支援センター利用者数	年間	↑	956人	966人	860人	89.0%	②80%以上	社会参加の場として多数の利用者に参加いただいた。	若年層や知的、精神障害者などにも利用しやすい場所となるよう、今後も一層の参加への促しを行う。
67	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	障害者福祉の推進	障害者支援課	精神障害者社会復帰相談者数	年間	↑	2,986人	3,080人	2,065人	67.0%	③50%以上	相談支援事業所の側面的支援を中心に相談支援を行った。令和3年度からは基幹相談支援センターとして相談対応を行った。	専門職を中心に、基幹相談支援センターとして支援を継続する。
68	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	乳幼児健康診査受診率	年間	↑	97.3%	98.5%	98.8%	100.3%	①100%以上	コロナ禍のため健診延期される方もあり、影響が懸念される。	今後も未受診者の把握を行い、受診を促進し、健診受診者は現状維持を目指す。
69	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	あやちゃん健康ポイント事業取組人数	年間	↑	1,185人	1,325人	840人	63.4%	③50%以上	コロナの影響により、教室やイベントが中止されポイントのための機会が減り、参加者も減少している。	令和4年度は教室やイベントが再開されつつあるので、事業への参加を呼びかける。また、健診受診や自主的に健康づくりをしていくことも呼びかけていく。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
70	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	保健推進課	がん検診受診率	年間	↑	18.8%	22.0%	18.0%	81.8%	②80%以上	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、受診率は16.6%と減少した。令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、受診率は回復傾向にある。新しい取組としては、令和3年度より、QRコードを取り入れ、WEBでの申し込みを開始した。また、京都市大規模実証事業の取組として、乳がん検診の勧奨ハガキの見直しや大腸がん検診の勧奨チラシを作成し、乳がん検診・子宮がん検診を実施している医療機関に勧奨協力を依頼した。	引き続き、京都市大規模実証事業の取組において集団健診の受診率向上に向けて、広報・勧奨方法・精密検査精度管理の見直しを行っていく。
71	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	市民・国保課	特定健康診査受診率	年間	↑	34.6%	60.0%	32.4%	54.0%	③50%以上	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行った。新型コロナウイルス感染症による受診控えはあるものの、前年と比較すると回復傾向にあり、少しずつ受診者が増加している。	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行う。また、かかりつけ医との連携した受診啓発の検討を行う。
72	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	保健の推進	市民・国保課	国民健康保険料収納率	年間	↑	96.57%	97.00%	97.61%	100.6%	①100%以上	決定通知書送付時に口座振替推進チラシ及び口座振替依頼書を同封し、広報紙やホームページへの掲載等により積極的に口座振替の推進を図っている。また、納期に振替不能となった場合は、通知の上、再振替処理をするなど、確実な納付を図った。きめ細やかな納付相談を行った結果、京都市内でも高い収納率を維持している。	引き続き、口座振替の推進とコンビニ納付の活用により、確実な納付となるよう納付環境を整えるとともに、きめ細やかな納付相談を行う。また、京都地方税機構と連携を密にし、収納率向上を図る。
73	4 環境をととのえ健康のあふれるまち	医療体制の充実	保健推進課	奨学金貸与人数（医師）	5か年累計	↑	4人 (H27～R元)	5人	0人	0.0%	④50%未満	申込みがなかったため、実績なし。	今後も奨学金制度のPRを行い、医師確保に努める。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
74	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	京力農場プラン策定集落数	累計	↑	41集落	47集落	47集落	100.0%	①100%以上	農地中間管理事業や中山間地域等直接支払交付金における集落戦略を同種取決めとすることにより、8月12日に開催した検討会にて3集落で新たにプランを策定、1集落で見直しを実施。	プラン策定への推進により、予想より早く目標の47集落を達成。プランを必要とする集落の策定がかなり進んでいるので今後の策定は鈍化する可能性がある。 法定化により、令和5年度から市町村がプランを作成することになる（今までは地域がプランの作成主体）。また、話し合いによる「目標地図」（1筆ごとに利用者を明確にし、目指す集約化を示すもの）が必要になる。目標地図の作成は農業委員会が主体となるため、法定化プラン作成に向けて農業委員会との協議を行っていく。
75	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	認定農業者数（個人・法人）	年間	↑	48経営体	55経営体	50経営体	90.9%	②80%以上	認定農業者をやめられる方と新たに認定になる方がほぼ同数のため、実績としては微増となった。 R3認定→4経営体 R3やめられた方→3経営体	補助制度を活用する場合、認定農業者であると補助率が優遇されたり、認定農業者でないと活用できない補助制度もあるため、認定されるメリットを丁寧に説明し目標達成につなげる。
76	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	農政課	新規就農者数（支援事業活用分）	累計	↑	66人	73人	68人	93.2%	②80%以上	農業経営チャレンジ支援事業を活用していた方が、農業次世代人材投資資金（経営開始型）を活用され、新たに独立経営を開始された。	定住・地域政策課や農業改良普及センターと連携し、農業移住を考えている方をターゲットに事業展開をしていく。
77	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	林政課	有害鳥獣被害面積	年間	↓	2,356a	1,154a	2,262a	7.8%	④50%未満	市全体を見た場合、昨年度と比較して被害発生地区と獣種の傾向に大きな差がなく、被害面積・被害金額ともに横ばいか微減傾向である。侵入防止柵の整備等で防除の対策を講じて一定の成果は上がっているものの、未整備地区で被害が発生するなどの傾向があり、引き続き整備を行う。	平成23年度に整備した電気柵の耐用年数が切れ、WM柵も耐用年数が迫ってきており、施設も老朽化してきている状況である。侵入防止柵の整備による効果はあるため、今後も計画的に順次更新を行うことと併せて、鳥獣の捕獲や追払いも行っていく。
78	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	農林業・内水面漁業の振興	林政課	森林経営管理権集積計画	累計	↑	0団地	6団地	1団地	16.7%	④50%未満	R元に設定したモデル地区にて集積計画を策定し、保育間伐を実施。経営管理権を取得するためには、地権者(相続権利者)全員の同意が必要なため時間を要する。	意向調査実施計画に基づき地区を設定するための準備しており、順次地区を設定していく予定である。
79	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	空き店舗活用支援事業支援件数	累計	↑	4店	10店	6店	60.0%	③50%以上	綾部商工会議所と連携し、新たに1件の出店を支援した。また、出店から2年未満の4件に対しても継続して支援を行った。	支援対象を賃貸による出店に加え、購入による出店にも拡大し、さらなる空き店舗の減少を図る。また、引き続き綾部商工会議所との連携に努め、制度のPRを図る。
80	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	チャレンジショップ支援事業費補助金交付件数	累計	↑	45店	59店	53店	89.8%	②80%以上	2件（飲食業1件、サービス業1件）に対し補助金を交付するとともに、地区商工繁栄会等への加入促進を図った。	引き続き、綾部商工会議所や地区商工繁栄会等との連携に努め、制度のPRを図る。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
81	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	(一社)綾部工業研修所卒業生数	累計	↑	1,750人	2,030人	1,810人	89.2%	②80%以上	企業訪問等の際に綾部工業研修所の受講を案内し、基礎コースは20名が卒業。また上級コースでは8名が修了し、修了者は延べ61名となった。コロナ禍で企業からの派遣が困難な状況であった。	周知に努め、受講者数の増加に繋げる。
82	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	北部産業創造センター内の機械貸付件数(市内企業)	年間	↑	356件	460件	524件	113.9%	①100%以上	企業訪問等の際に周知に努め、利用促進を図り、貸付件数が増加した。	引き続き北部産業創造センターのPRを行い、更なる利用促進を図る。
83	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	事業所実態調査総売上額	年間	↑	1,434億円	1,580億円	1,803億円	114.1%	①100%以上	製造出荷額等の増加を図るため、生産体制の強化や設備導入に対応する補助金等の周知に努めた。	市内企業の売上額は増加傾向にあるが、半導体等密部品品の供給不足や食料、燃料、生産資材の価格高騰など注視が必要。今後も国等の補助制度等の利用促進や支援に努めていく。
84	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	商工業の振興と雇用促進	商工労政課	ふるさと就職支援情報発信事業提供者数	累計	↑	598人	750人	670人	89.3%	②80%以上	綾部高校の生徒や都市部の大学生等へ登録促進を図った。定住・地域政策課と連携し、移住希望者への登録促進を図った。	引き続き、綾部市雇用促進連絡会議や定住・地域政策課との連携に努め、制度の登録促進を図り、就職フェア、インターンシップ等の情報を発信する。
85	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	観光交流課	日帰り観光客数	年間	↑	548,813人	560,000人	299,897人	53.6%	③50%以上	新型コロナウイルス感染拡大により、施設の休館・時間短縮や、イベントが中止になる等の要因が重なり、基準値を大幅に下回る結果となったが、キャンプサイトや大型迷路、綾部夢ライトなど外で楽しめるコンテンツが増え、昨年度より10%増加した。	冬の賑わいイベントとしてR3年度から始めた「綾部夢ライト」の充実・定着を図る等、コロナ禍・コロナ後を意識したイベントを強化し、また、海の京都DMO・森の京都DMOの情報発信力を最大限に活用し、観光情報発信の強化に努め観光客の増加を図る。
86	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	観光交流課	宿泊観光客数	年間	↑	50,230人	58,500人	41,367人	70.7%	③50%以上	新型コロナウイルス感染拡大により、外出や移動の制限、自粛が繰り返され、団体客や訪日外国人旅行者などを中心に減少し、基準値を下回る結果となったが、府・市の宿泊キャンペーンなどもあり、昨年度より3%増加した。	農家民宿等の開業を推進し宿泊施設の増加に努める。また海の京都DMO、森の京都DMO等の広域連携によるプロモーション活動や情報発信の強化に努め宿泊客数の増加を図る。
87	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	定住・地域政策課	水源の里指定集落における都市交流人口	年間	↑	20,912人	28,800人	7,452人	25.9%	④50%未満	コロナ禍で交流事業の中止もあり、例年通りとはいかなかったが、大学との連携や各集落へのボランティア活動を通じて農村都市交流を実施した。	広報等を活用し、交流人口や関係人口の増加に努める。



第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
88	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	観光交流課	里山ねっと・あやべ交流事業参加者数	年間	↑	2,775人	7,000人	1,201人	17.2%	④50%未満	年間通じ約9カ月ほど新型コロナウイルスによる規制が発令されたため、予定していた交流事業が実施できず参加者数が大幅に減少している。遠方からの交流は期待できず、近隣市町の住民に対し田舎暮らしの生活術を学ぶ内容のプログラムを中心に実施し地域交流を行った。	ウィズコロナに対応した体験型プログラムを少しずつ実施していくこととしている。また新たな取組として農家民宿の宿ごとの特色やオーナーのプロフィール、メッセージを流せる動画作成に取り組む。将来的には農家民宿と里山ねっと・あやべがタイアップしたプログラムを実践していくことを視野に入れている。
89	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	観光と交流の推進	秘書広報課	あやべ特別市民制度登録者数		↑	1,858人	2,000人	1,718人	85.9%	②80%以上	特産品の発送や広報紙などの情報発信により、会員に本市の良さを広くアピールするとともに、更なる綾部の応援者の拡大を図るため機会あるごとに募集チラシを配布するなどした。	内容の充実及び会員の拡大に努める。
90	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	定住世帯数（定住サポート総合窓口扱い）	累計	↑	242世帯	360世帯	311世帯	86.4%	②80%以上	定住実績が38世帯78人となり、世帯では定住サポート総合窓口開設以来最多となった。また、京都市に開設した「あやべ定住サポート京都サテライト店」で新たに特産品等の物品販売をするあやべ市（いち）を実施、京都サテライト店を通じて相談をされた方が移住に至ったケースが1件あった。	定住希望者をさらに呼び込むためには空き家の確保が必要であり、今後は空き家の掘り起こしに努めていく。また、定住施策を広く情報発信していくためにも、京都サテライト店での取組を継続していく必要がある。
91	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	こころへのことつたえ隊隊員数	累計	↑	25人	110人	35人	31.8%	④50%未満	移住立国ホームページにこころへのことつたえ隊の紹介ページを設置した。リーダーを中心に地域紹介動画の作成を実施するなど情報発信を行った。	こころへのことつたえ隊員拡大のPRや、隊員と協力し、新たな情報発信の促進に取り組む。
92	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	水源の里への定住世帯数	累計	↑	29世帯	41世帯	38世帯	92.7%	②80%以上	水源の里集落の情報を、ブログやフェイスブックを活用し魅力発信を行った。	引き続き水源の里集落の対象集落へ指定をさせていただくよう促すとともに、あわせて空き家登録も促していく。
93	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	移住・定住の促進	定住・地域政策課	水源の里指定集落数	累計	↑	17集落	23集落	19集落	82.6%	②80%以上	・新たに1地区が指定集落となった。 ・水源の里指定集落活性化事業などに対し補助金を交付するとともに人的支援を行った。	水源の里集落の指定を促進するとともに、定住促進と活性化を支援していく。
94	5産業をおこし 豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	市民駅伝参加登録チーム数		↑	127チーム	130チーム	83チーム	63.8%	③50%以上	新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、開閉会式の実施の取りやめ、会場レイアウトの変更等対策を講じて実施した。コロナ禍であり、参加チームは減少したが、多くのチームに参加いただいており、健康増進と競技力の向上、また市民相互の親睦と交流を深める場として成果を挙げた。	継続して実施し、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値(R元)	目標値(R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
95	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	二王門登山レース参加登録者数		↑	834人	850人	中止	対象外	対象外	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、大会を中止とした。	継続して実施し、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しむことができる環境づくりを推進する。
96	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ少年団加入率		↑	19.9%	20.0%	21.1%	105.5%	①100%以上	コロナ禍ではあったが、体力テスト会、指導者研修会を実施するとともに、スポーツ少年団に関するチラシを配布するなど団員拡充事業も行った。スポーツを通じて地域や仲間とかわり合う場を提供することにより、健全な体と心を育むことができた。	少子化の影響はあるが、積極的支援により、団員数の現状維持を目指す。
97	5産業をおこし豊かなくらしのあるまち	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ施設利用者数	年間	↑	158,911人	206,000人	188,590人	91.5%	②80%以上	新型コロナウイルス感染症の影響により施設の閉館等があり利用実績が減少したが、施設管理者と連携を密にし、施設の健全な維持管理と利用促進、利用者サービスの向上に取り組んだ。	施設の適正管理に努め、より利用しやすい施設となるようにするとともに、管理者と連携し各種大会の誘致を図る。
98	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	都市計画課	地籍調査完了面積	累計	↑	11.41km <sup>2</sup>	11.98km <sup>2</sup>	0.00km <sup>2</sup>	0.0%	④50%未満	青野II地区において現地立会を実施。青野I地区においては国土地理院の認証を受けた。	青野II地区において一筆地測量を実施。青野I地区においては法務局への登記完了を目指す。
99	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	定住・地域政策課	あやべ桜が丘団地販売区画数(R6)	累計	↑	432区画	456区画	439区画	96.3%	②80%以上	3区画の契約が成立した。2月に一回フリーペーパーへの広告記事を掲載、FMいかるでスポットCMを流すなどのPRを行った。販売促進にむけて、あやべ桜が丘ハウスパーク運営協議会を実施した。	引き続き、広告の掲載やFMいかるのCMを活用するとともにあやべ桜が丘ハウスパーク運営協議会と協力しながら、販売促進に努める。
100	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	土地利用と市街地の形成	建築課	借上型市営住宅の整備戸数	累計	↑	34戸	90戸	48戸	53.3%	③50%以上	令和3年度は1棟8戸が整備できた。令和4年度も1棟8戸を建設予定。	引き続き住宅を建設いただく事業者を募集し、年間10戸を目標として事業を推進する。
101	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	道路・公園の整備	建設課	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋りょう補修数	累計	↑	7橋	27橋	3橋	11.1%	④50%未満	奥山口橋、綾部工業団地大橋、岡倉橋の橋梁補修工事を実施した。	道路橋定期点検の結果により判定区分の高い橋梁について計画的に補修を行う。
102	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	道路・公園の整備	都市計画課	公園施設長寿命化計画に基づく都市公園遊具更新率	累計	↑	35.6%	59.3%	59.3%	100.0%	①100%以上	下記の遊具を更新(または撤去)した。 ・上延第2公園：鉄棒更新1基、鉄棒撤去1基 ・ホープタウン第2公園：鉄棒更新1基、砂場撤去1面 ・ホープタウン第3公園：鉄棒更新1基	計画に沿った遊具の更新を継続する。

第6次総合計画前期基本計画進捗を共有する指標実績調査表【様式1】

※集計区分に記載のないものは、集計時点の実績値を入力

No.	章	節	担当課	目標指標	集計区分	目標の方向	基準値 (R元)	目標値 (R7)	①R3実績	R3達成率	R3達成区分	②R3実績分析・評価及び具体的取組事業・内容	③実績値を踏まえた目標達成のための今後の取組の方向性
103	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	市民協働課	あやバス乗車人数	年間	↑	197,412人	205,000人	154,879人	75.6%	③50%以上	人口の減少にあわせ、乗車数は年々減少傾向にあるところに、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大幅に減少したまま推移している。京都大学大学院の学術指導を受け、利用促進策や令和3年度に向けたダイヤ改正についての助言を受けた。	利用者等の声を聞きながら安定的な運行の確保と利便性の向上を図り、乗車増を目指す。
104	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	市民協働課	鉄道利用通学費補助金利用者数	年間	↑	59人	70人	45人	64.3%	③50%以上	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リモート授業が続くなどの影響を受け、利用者数が減少した。	制度の周知を図るため、高等学校への説明やチラシの配布を行うなど、利用促進に努める。
105	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	公共交通の充実	都市計画課	パーク＆レール利用件数	年間	↑	13,475件	14,000件	3,002件	21.4%	④50%未満	新型コロナウイルス感染症流行に伴う鉄道利用者の大幅な減少によるもの。	J R西日本のパーク＆レール事業撤退により、令和4年3月31日をもって事業廃止。令和4年7月よりICOCAやクレジットカードが利用可能な電子決済サービス開始。
106	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	上水道課	水道普及率		↑	98.5%	98.8%	98.6%	99.8%	②80%以上	懸案事項である点在する奥上林の一部地区の未普及地については、地元の整備要望等の状況から、具体的な着手には至らず当年度において、未普及地解消に向けた事業に着手することができなかった。	引き続き水道未普及地解消に向け、対策について検討していく。
107	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	上水道課	上水道管布設替え延長	年間	↑	988m	2,000m	1,888m	94.4%	②80%以上	配水施設改良工事及び公共下水道関連工事により配水管布設替えを行った。令和3年度、総布設延長の実績は3,718mであるが、他事業関連事業等により1,526mを新設したため、布設替え延長については1,888mとなり、おおむね目標を達成することができた。	年間2,000mの布設替え工事を計画し、年度ごとでばらつきが生じる可能性もあるが、5箇年で全体事業量10,000mの布設替えを目標に事業を実施する。
108	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	下水道課	汚水処理人口普及率		↑	83.9%	85.2%	85.6%	100.5%	①100%以上	公共下水道整備は年次計画に基づき、計画的に事業実施できた。また、未接続者へのアンケート実施や、浄化槽整備では広報等により募集を行い、予定数以上の申し込みがあり水洗化の促進が図れた。	引き続き、公共下水道整備、浄化槽整備を計画的に事業実施していく。
109	6計画を定め輝かしいあしたをひらくまち	上下水道の運営と整備	下水道課	水洗化率		↑	74.8%	76.4%	77.1%	100.9%	①100%以上	公共下水道整備は年次計画に基づき、計画的に事業実施できた。また、未接続者へのアンケート実施や、浄化槽整備では広報等により募集を行い、予定数以上の申し込みがあり水洗化の促進が図れた。	引き続き、公共下水道整備、浄化槽整備を計画的に事業実施していく。